

## 理数科6期生入学

理数科6期生が入学し、早2ヶ月が経ちました。今年度も40人の生徒が本校の理数科に仲間入りをしました。理数科長の永井先生から、理数科6期生に向けてのコメントをご紹介しますと思います。

6期生の40人の諸君、所沢北高校理数科への入学おめでとう。4月当初から君たちの顔が見られて大変うれしいです。新入生がきちんと決められた時期に入学し、各学年がそれぞれ進級することが、どれほど有り難いことか再認識しました。教育や医療は拙速に変えてはいけないシステムなのです。

ご承知のとおり昨年度はSARS-CoV-2の蔓延の影響で教育活動が大幅に制限されました。同学年の男女を集めて集団で活動する学校にとって「三密を避ける」ことや先の予定が立てられないことは非常に辛いことです。しかし、そのような状況下でも5期生は時期をずらして臨海実習を実施したり、日本科学未来館に行けないので遠隔授業に参加したりしました。4期生は少ない時間でしたが課題研究に挑みました。3期生は受験に向けてきっちり準備をして卒業していきました。

理数科では君たちの自己実現にとって良かれと思うことをどんどん仕掛けていきます。ステージは用意します。活躍するのは君たちです。3年間でどれだけ成長できるか、変われるかが楽しみです。心がけてほしいことを2点挙げます。

まず1点目は、東京大学と東京理科大学主催の高校生向け講座に積極的に参加しましょう。中学生の時に高校生活をイメージできなかったように、今の君たちは大学生活や研究室・卒業実験などは想像できないことでしょう。では、大学の先生の講義を受けてみたり、研究者の話を聞いてみれば、大学入学のその先を体感することができます。研究者と教育者の違いは何だと思えますか？

2点目は、日常生活をきちんと大切に丁寧に過ごすことです。普通のことを当たり前になしていくことです。知的performanceは急には向上しません。逆に急にできなくなることもない。徐々にです。短時間で達成できるようになったことは、短時間で忘れます。うんうん唸って脳がよじれるほど考えて理解したことは、なかなか忘れません。日々もろもろのことに感謝して「ちゃんと」生活する。変わり続ける事は意外と難しいですよ。自分がどんなことを面白いのか、試してみましょ。

理数科長 永井 雅樹

## 臨海実習

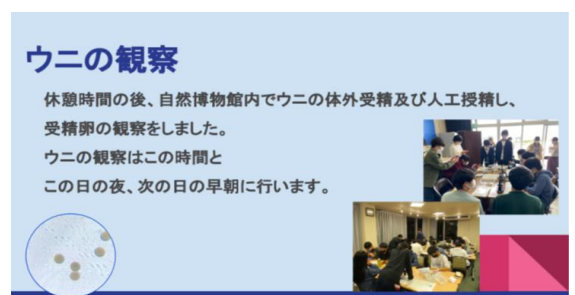
3月29日、3月30日に神奈川県三浦半島で理数科5期生臨海実習が行われました。今年度は例年と異なり、春休みでの臨海実習となりました。対面式で生徒が紹介に用いたプレゼン資料とともに紹介いたします。

1日目

- AM 三浦半島東端の観音崎にて  
磯観察とウニの人工授精・初期発生の観察
- PM 初期発生の観察・東京大学黒川先生の講演会

2日目

- AM 三浦半島西端の城ヶ島に移動  
城ヶ島の地質巡検



生徒の声（感想を原文のまま掲載します）

“ずーっと憧れていた臨海実習に行けて、本当に楽しかった!!この時期に行ったからこそ見られた。桜やバフンウニ、アメフラシ、、、特別な思い出になりました。海の生物の多様性、発生と原腸陥入の神秘、地質の魅力。実習だから学べたことが全てでした。”

“磯観察は海水が冷たかったものの、たくさんの海の生物を観察できた。実際に触ってみたりでき、これまでとは違った海の楽しみ方ができたので良かった。ウニの放卵、放精、受精では5つの生殖孔があることや、桑実胚まで観察できた。事前学習で学んだことがそのまま観察できたり、うまく進んでくれたので嬉しかった。城ヶ島の地層は興味深いものが多く、面白かった。”

臨海実習に参加した多くの生徒が、実際の地層や生物に触れて、実際に触れることの意味を感じたようです。今後の多くの学びの中で、直接目で見て、触れてみることの大切さを大事にしてください。



(生徒の作成したプレゼン資料)

## 理数科対面式



4月13日(火)本校体育館にて新入生歓迎の理数科対面式が行われました。前半では歓迎の言葉とともに、2年生からは「臨海実習」について、3年生からは「課題研究」についての紹介がありました。その後、1年生代表から理数科6期生としての抱負が語られました。

最後にリクレーション「針金独楽」を3学年合同で行いました。企画・進行まで、すべて3年生が運営し、1・2・3年生から各1~2人、学年を越えて3~5人の班で知恵を絞って課題に取り組みました。70cmと30cmの針金、各2本ずつのみで、どれだけ長く回るコマを作れるか競うものでした。結構簡単そうですが、これがなかなか難しい…。各班、形や大きさに試行錯誤…。

感染対策のためのマスク越しの交流で、しかも短い時間でしたが、3学年間の親睦を深めることができた時間になりました。

## 課題研究

4月30日(金)理数科2年生の課題研究が始まりました。理数科2年では物理・化学・生物・地学・数学の5分野に分かれ、それぞれの分野で来年2月までの約1年の期間をかけて班ごとに研究活動を行います。



# 今後の予定

I学期～夏休みにかけての校内外の主な行事を掲載します。本校主催のイベントだけでなく、大学主催のイベントもあります。是非興味のある人は窓口の先生まで。参加をお待ちしています。

月	日	曜日	時間	内容	窓口
6	11	金	17:30～ (オンライン)	東京大学 金曜講座 「大江健三郎のデビュー作「奇妙な仕事」を読む」	谷先生/ 数学
6	18	金	17:30～ (オンライン)	東京大学 金曜講座 「デジタルゲームの感性学」	谷先生/ 数学
6	19	土	14:00～15:30 (オンライン)	東京理科大学 第4回 「摩擦・摩耗・潤滑はトライアングル？」	永井先生/ 生物
6	25	金	17:30～ (オンライン)	東京大学 金曜講座 「「良い定義」の発見が世界を変える」	谷先生/ 数学
7	9	金	17:30～ (オンライン)	東京大学 金曜講座 「サメを科学する」	谷先生/ 数学
7	16	金	17:30～ (オンライン)	東京大学 金曜講座 「不平等の社会学:データから社会を考える」	谷先生/ 数学
7	17	土	14:00～15:30 (オンライン)	東京理科大学 第5回 「石けんからはじまるナノテクノロジー ～私の研究の脱線と発展～」	永井先生/ 生物
8	5	木		理数科6期生臨海実習／～8月6日まで	
8	27	金		理数科5期生 課題研究集中実験日	

## 編集後記

今年度は4月に対面式を行うことができ、理数科兄弟クラスでの初のイベントとなりました。当日は司会をはじめ、3年生が中心となり企画や運営を行い、学年を越えて親睦を深めることができました。今後の予定にも示しましたが、これからも様々なイベントがあります。色々な場面での理数科生の活躍を紹介していきたいと思いますので、今年度もよろしくお願ひします。

(文責:野澤)